



CBC NEWS

2007年12月号

中央聖書神学校



(列王紀上十八章四十四節)
アハブ王が支配する頃、イスラエルは三年半の間、大干ばつに見舞われていました。神は三年目に預言者エリヤに、「わたしは雨を地に降らせる」(王上十八章一節)と言われました。カルメル山でエリヤが祈ると主の火が下りました。それから大雨の音を聞いたエリヤはカルメル山頂で地に伏して祈り、しもべに海の方を見させました。六度も見

七度目にしもべは言った、「海から人の手ほどの小さな雲が起っています。」

学監 菊地和博

手ほどの雲



に行かせましたが、何も見えません。「もう一度行きなさい」(同十八章四十三節)とエリヤは命じました。しもべが行くと、海から手ほどの雲が起り、見る間にその雲は広がり大雨になりました。

先日、名古屋で福音主義神学校協議会がありました。福音派に属する二十数校の神学校の代表が参加し、有意義な会合でした。どの神学校にも共通している課題は、献身者が少ないということです。特にフルタイムで献身し伝道者・牧師を志願する兄弟が少ないのです。少子高齢化に伴い、若い献身者の割合が減少しているため、高齢者のためのコースを設けてある程度成果をあげている学校もあれば、このコースを見直そうとしている学校もあります。どうしたら、このような状況を打破しワールドの必要に応えうるだけの献身者を発掘し伝道者を養成できるのでしょうか。

私たちの中央聖書神学校には現在本科生が、本校で14名、



関東分校で2名、関西分校で2名、計18名在籍しています。主は祈りの炎を燃やしつつ学ぶ18名の伝道者の卵を育ててくださっています。しかし、ワールドを考えると少なくともこの二倍位の学生が必要です。学校に閉古鳥はいません。主が起こしてくださる「手ほどの雲」も見えはじめています。それは全国の諸教会から収穫の働き人が多く起こされるように祈りの手があげられているからです。

今年の五月の全国聖会には30名ほどの献身表明者がありました。先日(9月24日)持たれた献身者準備会(オープンキャンパス)には24名の兄弟が参加しました。十数名の兄弟が願書を持って帰りました。これ以外にも全国の教会に入学志願する兄弟が大勢いることでしょう。「手ほどの雲」がすみやかに「大雨」となりますように。

学事往来

【運営委員会関係】

7月9日、8月20日、9月24日

【学校理事会関係】

9月3日

【教師研修会】

7月9日、11日

【オープンキャンパス】

9月24日

【夏期派遣】

7月8日、8月29日

【聖別会】

8月31日(説教者：菊山校長)

お詫びと訂正

前号(3頁) 新入生紹介のところで、「嘉手納キリスト教会」と記してしまいましたが、「嘉手納アツセンブリー教会」が正しい名前です。お詫びして訂正します。

CBC NEWS 12月号

編集スタッフ

北澤成弘 川上基枝

横山唯一 小石雅枝

編集責任者 久保田 潔

事務局 中央聖書神学校

後援会入会のご案内

13の教会伝道所からスタートした日本アツセンブリーズ・オブ・ゴッド教団も、今や二〇余の街々で伝道を展開する教団となりました。聖霊なる神の導きに従った群れに対する祝福の大きさを実感させられます。

中央聖書神学校は、伝道の前線に働き人を送り出すことに、大きく貢献し続けてきました。現在は皆様の教会から捧げられる献金により、必要が賄われております。今、多くの献身者の起こされる、差し迫った必要があります。献身者を送り出してくださいと同時に、中央聖書神学校のために祈り、お捧げください。わたしたち中央聖書神学校後援会は、なんとかして教会のご協力と一人でも多くの教会員の方々が後援会の会員となつてくださり、共に祝福に与りたいものと考えております。 在主席

後援会会長 多田睦夫

☆後援会入会要請

個人会員 一口 年5千円

法人会員 一口 年1万円

連絡は中央聖書神学校内後援会宛にお願いいたします。

編集後記

私がこの中央聖書神学校に入学して早くも今年が最終学年となりました。そしてCBCニュースに携わることができるようにも最後となった。今までの制作活動を思い返してみても思うことはCBCの存在を全国諸教会に伝えることの大切さである。なぜ伝える必要があるのだろうか。それは全国諸教会の先生方や兄弟からCBCのために熱い祈りと尊い献金によって支えられているからだ。その感謝の表われがCBCニュースである。これからもCBCニュースを見るたびにそのことを思い出すであろう。

(北澤成弘)

聖書信仰にたって福音宣教の使命に
燃える者を訓練・育成する

中央聖書神学校

ATA認定校 校長 菊山和夫

入学資格：高卒以上、召命の確信がある者

【願書受付日】 2008年2月12日(火)

【入学試験日】 2008年2月19日(火)

本校 〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20

関東分校 TEL 03-3918-4925 / FAX 03-3918-4064

関西分校 〒663-8184 西宮市鳴尾町1-10-7

TEL/FAX 0798-41-4428

http://www.cbc-j.ac.jp/

ご献金によるお支えを心より感謝申し上げます。

2007年5月～9月 献金者

—— 一般献金 ——
【教会・団体】
アメリカアツセンブリー宣教師団
仙台神召キリスト教会
浜松北キリスト教会
熊本聖書教会
【個人】
四戸久美師
ジュナイダー師

松本春雄兄
北野耕一師
大坂太郎師

【その他】

教団から全国聖会献金より
神学校へ50万円の献金。
図書館カーペット特別献金
として、多賀谷登茂子師。

—— ダビデの石献金 ——
【関東北東教区】
狭山キリスト教会
大島キリスト教会
中央福音教会
【関東南西教区】
武蔵野基督教会
【東海教区】
天塚キリスト教会

【関西教区】
尾崎基督教会
鳴尾キリスト福音教会
【四国教区】
中村福音キリスト教会
【九州教区】
佐伯聖書キリスト教会



ゴスペルの特別の出し物もお披露目します！

CBCの学生生活での学びの中に学生伝道集会「GOSPEL NIGHT THE NIGHT」が毎週金曜日の夜に持たれています。



- 神学校職員募集**
- 職種 神学校事務
 - 募集人員 パート一名
 - 申込 履歴書一通
 - 待遇・詳細 面接決定
 - 申込先 神学校給与規定による
 - TEL 〇三三三九一八一四九二五

この集会は単なる学びのための集会では決してありません。一回の集会において、私達は一生に一度限りのものであるという心持ちで、祈り備え奉仕をさせていただいています。集会の内容は、メッセージや救いの証、寸劇などがあります。この喜ばしい務めをさせていただく中で、私達は良き伝道者へと成長させていただけることを望んでいます。また一人の魂が救いに導かれる喜びを味わうことができることも大きな喜びです。



「みなさん！神を信じましょう！」と叫ぶメッセンジャー。集会の様子。

毎週火曜日の午後四時半から上野公園の路上生活者を対象にした伝道集会をもっています。学生の活動ですからできることに限りがありますが、賛美とメ

① 上野路傍伝道

私達学生はその他にも、有志で課外活動をしています。そのうちの2つを紹介します。

自主活動 紹介コーナー

② 病院伝道

自主活動である病院伝道は、板橋区にある誠志会病院に訪問しています。最初に約1時間の集会を持って、その後各病室を回ります。病室では賛美を歌い、患者さん一人一人に手を置いて祈ります。特に岡田先生の伝道に対する情熱を見て深く感動しています。毎回、訪問するたびに、多くの事を学び感謝しています。



わかりやすいメッセージで皆さんの魂に神の愛を届けました。

イスラエル研修旅行報告

校長 菊山和夫

今年、CBCに与えられた恵みの一つに、イスラエル研修旅行がありました。その証の一部を、前回のCBCニュースに掲載いたしました。

この旅行は、麻生キリスト教会の松本春雄兄が神学生の学びのために、特別に多額の献金をして下さったことによって実現したものです。その他、松本兄は奨学金のためにも献金して下さいました。

全期間天候に恵まれ、各地で礼拝と祈りの時を持ち、主の復活の園では聖餐式を行いました。期待以上の充実した研修となりました。心から感謝いたします。

イスラエル研修旅行参加者

教師 三名
校長 菊山和夫
学生主任 久保田潔
研修講師 安田 眞
神学生 一〇名

イスラエル研修旅行～主な研修内容

日程：2007 年 1 月 12 日(金)～19 日(金)

- 1/12(金) 出国
- 1/13(土) ヨルダン川、死海、マサダ、クムラン
- 1/14(日) ガリラヤ湖、山上の説教の丘、カペナウム、パニヤス(ピリポ・カイザリヤ)
- 1/15(月) キブツ見学、タボル山、ナザレ、メギド、カイザリヤ
- 1/16(火) オリーブ山、エルサレム旧市街、シオンの丘、死海写本館
- 1/17(水) 西の壁、ヴィア・トロローサ(十字架の道)、主の復活の園、ベツレヘム
- 1/18(木) エンカレム、エラの谷、エマオの園
- 1/19(金) 帰国



※イスラエル研修旅行は今後も3年に一度、全学生を対象に継続していく予定です。次回は2010年1月です。

静心

三年 峯岸邦子

分校で四年、現在は本校の学生として最後の学びを与えられている。入学した当初の私と現在の私では随分心の中が違いうに思わされている。

神は様々な事を通して、神は今も生きておられるという事を教えてくれたと思うのである。私の弱さの内に神の力が豊かにあらわされていると実感している。

ただ私の心にあるのは、キリストの十字架の血潮で罪が赦されたという事実と、神を愛する者には、神御自身が豊かな恵みをもって導いてくださるという確信である。

そして、確かに私と共に居てくださる、この確信を握り締め、これからも歩んで行きたいと思うのである。栄光ある主にハレルヤ！



私たち、CBCメンバーです！

左から
小石雅枝(1) 峯岸邦子(3) 相原恵子(1) 田村敬子(3)
右から
川上基枝(3) 柴崎めぐみ(3) 中川百合(2) * () 内は学年



左から
平松 契(1) 北澤成弘(3) 久保田 顕(2) 下方 悟(3)
右から
武石喜光(3) 藤田豊樹(3) 横山唯一(2) * () 内は学年

部の活動を紹介します！

伝道部(4名)では金曜日の路傍伝道と「J・S・L・I・G・A・T」(学生伝道集会)を企画・運営しています。大学での伝道・トラクト配布にも力を入れ、元気な集会を目指しています。限られた時間の中で、創造性を発揮しつつ伝道する大切さを感じています。



作業部(4名)では学生全員で行う、月曜日午後の作業運営や、掃除道具・寮生活用具の管理、先生方が宿泊する接待室の掃除依頼、池の管理などを行っています。作業を通して、学びの場を整え神と人に仕えることの大切さを体験しています。



音楽部(2名)では音響の設定・PA・プロジェクターの奉仕・特別集会での賛美指導などを行っています。今後は、音響機器操作技術向上にも力を入れていきたいと思っています。礼拝の“音”の土台である音響操作も、賛美であることを感じています。



新聞部(4名)では年2回CBCニュースを作成しています。この活動には、全国の教会とCBCを結ぶ橋渡しとしての責任を感じています。その他にも、様々な行事の写真撮影を行っています。今後もより良いCBCニュース作りを目指していきます。



2007 年度 CBC オープンキャンパス

去る9月24日(月)、初秋のすがすがしさを感じる中、2007年度の中央聖書神学校オープンキャンパスがもたれました。今回は24名という、例年から比べても多くの参加者を迎えることができました。

午前は、模擬授業Ⅰ(組織神学Ⅴ：大坂太郎師)、チャペル(説教：菊地和博師)、模擬授業Ⅱ(Practical English：北野ジョイス師)が行われました。神学校の学びに直接触れて、参加者の皆様は充実した時をもたれたようでした。

午後には、学校施設を見学した後、昼食会で全参加者共に交わりをもちました。食事の合間に、神学生により、様々なプログラムを通して、学校生活のいろいろな面を紹介させていただきました。プログラム終了後のアンケートには、「神学校のイメージが明るいものになった」という声が多くありました。来年度も多くの入学者が与えられますよう、お祈りいただけましたら幸いです。(横山唯一)



模擬授業



参加人数	計49名
(内訳) 参加者	24名
学生	14名
教職	10名
職員	1名



昼食会



野川 悦子 師
牧会カウンセリング



安田 眞 師
旧約聖書通論



三上 友通 師
キリスト教教育通論

これまで講師としてご奉仕されてきた3名の先生方が、本年9月に教授に昇格されました。これからの働きに期待します！

新教授紹介

全国聖会の証し

3年 下方 悟

「神学生」と言うのと、奏樂が出来、説教が得意、そういった賜物(パラメーター)を持つている者が多くいる。そのようなイメージがあるだろう。しかし実際的には、そんな事は全くない。

私達は「カレンウェルチ師」の指導のもと練習を重ねた。先生は、とにかく「気さく」「陽気」である。元氣が出てくる。恥ずかしそうに手を挙げ賛美する学生。お堅いフェイスで、真剣にゴスペルを賛美する学生。そこには喜びも何も感じられない。そんな私達は、先生のキャラ、また指導によって少しずつ変わっていった。

先生は「心から賛美を捧げる」と言った所謂「内面的」な状態の重要性をも教えてくれた。神学生みんな英語が出来る訳で

3年生に聞きました!



杉田キリスト教会出身
武石 喜光

- ①ローマ人への手紙10: 11~13「…主の名を呼び求める者は救われる」の御言葉を体験できた
②聖霊論の書物を読む
③祈りの時、神様の臨在を独り占めできたと感じた時
④第一に神、第二に人を愛し大切にすることを目標にしたいです



杉田キリスト教会出身
北澤 成弘

- ①召しの確信と素晴らしい仲間が与えられたこと
②人を楽しませること
③みんなの笑顔がある時みんなと喜びを共有できた時
④喜びと明るさがあり使命感を持って世界に出ていく教会

来年の春に卒業を控えた3年生の皆さんに、聞きました!
質問項目は次の通りです。

- ①CBCで手に入れたもの
②趣味
③幸せだなあ!と感じる瞬間
④目指したい教会



山形神召キリスト教会出身
柴崎 めぐみ

- ①神の召しの確認
朝6時半までに身支度を終えること
卒業後も続けたいです
②散歩と喫茶店でのお茶
③いつも通り寝る支度をしている時
④教会の兄弟が生き生きのびのびとしている教会



仙台神召キリスト教会出身
川上 基枝

- ①指導者となるための霊的・実地的な規則正しい生活と、「神を愛し、人に仕える」という姿勢
②絵を描くこと
③温泉に浸かる瞬間、大好物を食べる時
④皆が礼拝者として神の前に立ち、共に教会を支え、神の御姿を現す教会



溝の口キリスト教会出身
峯岸 邦子

- ①気負うことなく、肩に力を入れる事もなく、ありのままの自分でもいいのだと、分かったこと
②ガーデニング
③家族皆と美味しいご飯を食べている時
④暖かくて、ホッとできて、元氣が出て、「また頑張ろう」という気持ちになれる教会

学びの証し

2年 久保田 顕

2006年4月に神学校に入學して1年半が過ぎました。これまでの学びを思い返すと感謝の思いで心が満たされます。なぜなら、これまで受講してきた全ての講義が、派遣先や神学生の活動である公園・東大伝道という現場において役立っているからです。確かに伝道は知識の羅列ではありません。しかし、どのように伝道をするべきか等の実践面での指標が、聖書を体系的に学ぶ事で教えられる。また祈る事の大切さや伝道への情熱を知る事ができます。講義を通して、旧約時代から新約時代における信仰の偉人達から、また教会の歴史から、講師の先生方からの言葉からも多くの事を学び、これからの伝道者としてのビジョンが与えられました。講義を受ければ受ける程、聖書を学べば学ぶほど宣教へのスピ

松本奨学金 ニッパ一奨学金

従来、CBCの奨学金には入學時に一部充当される奨学金と、ダビデの石奨学金がありました。が、今年より松本奨学金と故ニッパ一師御夫妻の献金200万円による奨学金(毎年度成績優秀な2名の学生に対する学費の授与)が加えられました。この4つの奨学金はすでに順当に活用されています。今後是非、この奨学金をより多くの方に利用して頂き、ゆとりを持って学業に励んで頂きたいと願っています。

リットが湧き上がります。

世間では、心に響く良い音楽や言葉があります。しかし聖書の言葉は、魂を揺さぶるものであるという事です。そのような力ある御言葉を学べる恵みを神様に感謝しつつさらに探究心をもって励み、将来の伝道・牧会に活かしていきたいと思えます。